

2012年1月20日

◆◆教育長様

東京大学大学院教育学研究科
学校開発政策コース教育課程特例校並びに「●●●」に関する
質問紙調査へのご協力をお願い

謹啓

厳寒の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は「教育課程特例校並びに●●●に関する質問紙調査」へのご協力のお便りをお寄せいただきました。この調査は、東京大学大学院教育学研究科学校開発政策コース（研究代表者：大桃敏行）が、科学研究費補助金「社会に生きる学力形成をめざしたカリキュラム・イノベーションの理論的・実践的研究」の一環として行うものです。各自治体で行う新しいカリキュラム、とりわけ教育課程特例校制度に基づくカリキュラム（学校教育法施行規則第55条の2等に基づく、学習指導要領等によらない教育課程を編成、実施する取組み）の成果と課題を実証的に把握し、今後の改革に資することを目的としています。ご多忙の折にご迷惑をおかけして恐縮ではございますが、下記の要領のもと同封いたしました質問票にご回答いただき、返送用封筒にてお送りくださいますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

- ◆ 調査票には、貴教委における教育課程特例校ならびに「●●●」の取組についてお聞きするための設問が含まれています。
- ◆ 特例の中でも、今回は「●●●」に関する項目を中心にご回答ください。
- ◆ 各問については、特に回答方法を明記してあるもの以外は、原則として選択回答式を採用しておりますので、あてはまる選択肢の番号を各問について1つずつ○で囲んでご回答ください。
- ◆ お答えが難しい質問については、ご回答いただかなくても構いません。部分的な回答でも結構ですので、2月15日（水）までご返送をお願いいたします。
- ◆ 調査対象は、教育課程特例校を有する市区町村です。それぞれの教育委員会と、その所管の学校（校長・教員）にご回答をお願いしています。調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。
- ◆ 差し支えなければ、文部科学省へ提出された申請書（別紙様式2：「特別の教育課程編成・実施計画」）の写しをご同封ください。

ご不明な点などありましたら、下記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。ご多忙のところお手数をおかけして申し訳ありませんが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願いいたします。

謹白

《問い合わせ先》

東京大学大学院教育学研究科
教授 大桃敏行

Tel : 03-00000-xxxxx

E-mail : ci-△△△@p.u-tokyo.ac.jp

I. 教育課程特例校並びに「●●●」に関する質問紙調査（東京大学）

Q1. 教育課程特例校の概要についてお伺いします。

A. 貴教委には、何校の教育課程特例校がありますか？

_____校（内訳：小学校_____校 中学校_____校 高等学校_____校 特別支援学校_____校）

B. 貴教委では、いつ教育課程特例校（構造改革特区特例校を含む）の認定を受けましたか？
（複数ある場合は、最初の指定年度をお答えください。）

平成_____年度～

C. 貴教委では、教育課程特例校導入（移行）以前に、文部科学省「研究開発学校」の指定を受けていましたか？

0. いいえ 1. はい（平成_____年度～_____年度、内容_____）

D. 貴教委の教育課程特例校の適用範囲として当てはまるものに○をつけてください。

1. 一校（区） 2. 複数校（区） 3. 全校

E. 特例を受けている教育課程はどのようなものでしょうか。ご記入をお願いします。

（例）小学校1～4年生の英語活動、地域学習（本郷学）など

F. 上記Eの内容を分類したとき、該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

1. 一貫教育 2. （小学校）英語教育 3. 英語以外の言語系
4. 地域（郷土）学習 5. 伝統文化 6. ものづくり
7. 生き方（道徳・キャリア）
8. その他（ _____ ）

G. 特例を受けている教科等に当てはまるもの全てに○をつけてください。

1. 全て、2. 国語、3. 算数・数学、4. 理科、5. 社会、6. 生活、7. 音楽、
8. 図画工作・美術、9. 体育（保健体育）、10. 家庭（技術家庭）、11. 道徳、
12. 特別活動、13. 総合的な学習、14. 外国語、15. その他（ _____ ）

以下、特例を受けている教育課程の中でも「●●●」について伺います。

Q2. ●●●に関する経費についてお伺いします。

平成23年度当初予算における教育費総額、●●●事業費（合計、内訳）をそれぞれご記入ください。

A. 教育費総額（予算書の「教育費」）	千円
B. ●●●事業費合計（B1+B2+B3）	千円
（内訳）B1. 講師，ALT，ボランティア等の「人件費」*1	千円
（内訳）B2. 教科書，教材教具費等の「物品費」*2	千円
（内訳）B3. その他の経費*3	千円

*1:賃金，報償費，旅費等 *2:需用費，備品購入費，原材料費等 *3:役務費，委託料等

Q3. ●●●に関する教育委員会の支援等についてお伺いします。

A. ●●●に関する自治体独自の「教育課程の基準」等は作成しましたか？

0. いいえ

1. はい →該当するもの全てに○をつけて下さい。

- a. 教育課程の基準， b. 指導の手引き， c. 指導事例集，
d. その他（具体例）

B. ●●●に基づく自治体独自の教材（教科書，副教科書・副読本等）は，作成しましたか？

0. いいえ

1. はい →該当するもの全てに○をつけてください。

- a. 教科書：●●●（教科）のための主たる教材
b. 副教科書・副読本：教科書や学習等を補うための教材
c. リーフレット：学習を補うための簡易な資料等
d. ワークブック：学習を補うための教材
e. CD・DVD等：視聴覚教材
f. その他（具体例）

C. ●●●を推進するための学校を研究指定等しています（いました）か？

0. いいえ 1. はい

D. 各学校に対して，●●●を推進するための役職（●●●推進教員，等）を置くよう指導していますか？

0. いいえ 1. はい

E. ●●●に関する担当職員を教育委員会に配置していますか？

0. いいえ

1. はい→ 人数____名（うち指導主事____名，非常勤・嘱託職員____名）

F. ●●●に関する指導主事等の学校訪問を実施していますか？

0. いいえ

1. ●●●に特化した学校訪問を実施している。
2. 通常の学校訪問の中で必ず指導している
3. 通常の学校訪問の中で必要があれば指導している。

G. 学校が貴教委へ「教育課程届」を提出するにあたって、●●●に関して指導を行うことができましたか？

0. 指導することはなかった。

1. 指導することがあった。（具体的にはどのような点を指導されましたか？
→ _____）

H. ●●●に関する教委主催の研修を実施していますか？

0. いいえ 1. はい（年間 a. 1回 b. 2～4回 c. 5～9回 d. 10回以上）

I. ●●●に関する教育研究会（部会）を設置していますか？

0. いいえ 1. はい（年間 a. 1回 b. 2～4回 c. 5～9回 d. 10回以上）

Q4. 貴教委の●●●の開発についてお伺いします。

A. 貴教委の●●●の「主たる発案者」は、どなたでしょうか？ 関わりの強い方（当時の役職等）を順に3つまでお選び下さい。

1. 教育長 2. 教育委員（教育長を除く） 3. 指導主事等（教育職）
4. 1～3以外の教委職員 5. 首長 6. 首長部局職員
7. 議会議員 8. 学校管理職 9. その他（ _____ ）

1位：	2位：	3位：
-----	-----	-----

資料 自治体におけるカリキュラム開発

B. ●●●の「コンセプト」(基本的な方針や考え方)は、主にどこで検討されましたか？(一つを選択)

1. 教育委員会議 2. 教育委員会事務局 3. 検討委員会 (→SQ4へ)
 4. 作業部会 (→SQ4へ) 5. 文科省指定研究開発学校
 6. その他研究指定校 7. その他 ()
 0. 検討していない

C. ●●●に関する「教育課程の基準」(学習指導要領のようなもの)は、主にどこで検討されましたか？(一つを選択)

1. 教育委員会議 2. 教育委員会事務局 3. 検討委員会 (→SQ4へ)
 4. 作業部会 (→SQ4へ) 5. 文科省指定研究開発学校
 6. その他研究指定校 7. その他 ()
 0. 検討していない

D. ●●●に関する「教科書等」は、主にどこで検討されましたか？(一つを選択)

1. 教育委員会議 2. 教育委員会事務局 3. 検討委員会 (→SQ4へ)
 4. 作業部会 (→SQ4へ) 5. 文科省指定研究開発学校
 6. その他研究指定校 7. その他 ()
 0. 検討していない

A. SQ4. Q4のB~Dの回答において、3.検討委員会もしくは4.作業部会で検討された場合は、その委員の構成と人数を教えてください。もし、当時の委員名簿があればその写しを同封いただく形でご記入を省略されても構いません。

	B. コンセプト	C. 教育課程の基準	D. 教科書等
1. 教育委員	人	人	人
2. 教育長	人	人	人
3. 教委事務局	人	人	人
4. 学校管理職	人	人	人
5. 教員	人	人	人
6. 保護者	人	人	人
7. 地域住民	人	人	人
8. 学識経験者	人	人	人
9. その他 (具体的に)	()	()	()
合計	人	人	人

Q5. ●●●導入のねらいや趣旨についてお伺いします。

- A. ●●●導入の主たるねらい（目的）や趣旨を教えてください。（文部科学省へ提出された申請書（別紙様式2：「特別の教育課程編成・実施計画」）の写しを同封していただく形で省略されても構いません。）

--

- B. ●●●の趣旨を浸透させる上で、特に重要なものは何でしょうか？ 次の1～11の中から3つまでお選びください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 校長のリーダーシップ | 2. 教頭や教務主任等のリーダーシップ |
| 3. 教員の研修意欲 | 4. 各学校の研究体制 |
| 5. 教員の加配措置 | 6. 人件費以外の予算措置 |
| 7. 教育長のリーダーシップ | 8. 指導主事等の指導助言 |
| 9. 校長会の理解・協力 | 10. 保護者の理解・協力 |
| 11. その他（具体的に_____） | |

--	--	--

- C. ●●●推進のために有効であった方策（研修や教材，指導案の作成等）がございましたらご紹介ください。

（例：ペア校研修＝複数校による英語活動研修，教育会内に専門部会を設置等）

--

Q6. ●●●導入による現時点での効果について、次の各問であてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

	とても あてはまる	やや あてはまる	あまりあて はまらない	全くあて はまらない
A. 子ども達の基礎学力が向上した。……………	4	3	2	1
B. 子ども達の思考力・判断力・表現力が高まった。…	4	3	2	1
C. 子ども達の学習意欲が高まった。……………	4	3	2	1
D. 子ども達の規範意識が高まった。……………	4	3	2	1
E. 子ども達が地域や社会のことを考えるようになった。	4	3	2	1
F. 教員の授業力が向上した。……………	4	3	2	1
G. 教員の創意工夫をいかす機会が増えた。……………	4	3	2	1
H. 教員の日々の仕事が忙しくなった。……………	4	3	2	1
I. 自校の教員と協力する機会が増えた。……………	4	3	2	1
J. 他校の教員と交流する機会が増えた。……………	4	3	2	1
K. 各学校の教育活動が活性化した。……………	4	3	2	1
L. 各学校の特色が明確になった。……………	4	3	2	1
M. 校長がリーダーシップを発揮する機会が増えた。…	4	3	2	1
N. 学校からの提案が増えた。……………	4	3	2	1
O. 学校間の連携が強まった。……………	4	3	2	1
P. 教育委員会議の議論が活性化した。……………	4	3	2	1
Q. 教育長の指導性を発揮する機会が増えた。……………	4	3	2	1
R. 指導主事の専門性を発揮する機会が増えた。……………	4	3	2	1
S. 学校予算が確保しやすくなった。……………	4	3	2	1

Q7. ●●●推進における課題について、次の各問であてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

	とても あてはまる	やや あてはまる	あまりあて はまらない	全くあて はまらない
A. 子ども達の負担が大きい。……………	4	3	2	1
B. 転入者の負担が大きい。……………	4	3	2	1
C. 教員の負担が大きい。……………	4	3	2	1
D. 学校管理職の理解が得られにくい。……………	4	3	2	1
E. 教員の理解が得られにくい。……………	4	3	2	1
F. 保護者の理解が得られにくい。……………	4	3	2	1
G. 首長（部局）の理解が得られにくい。……………	4	3	2	1
H. 議会の理解が得られにくい。……………	4	3	2	1
I. 文部科学省の理解が得られにくい。……………	4	3	2	1
J. 予算の確保が難しい。……………	4	3	2	1
K. ALT やボランティアなど人材の確保が難しい。……………	4	3	2	1
L. 新学習指導要領の導入による時数の確保が難しい。…	4	3	2	1
M. 事業の持続性・継続性が難しい。……………	4	3	2	1
N. その他				

(

)

Q8. 基礎データ

教育委員会名 [_____] 教育委員会

A. 貴職（教育長）の在職年数 [] 年 [] ヶ月

B. 貴職（教育長）の経歴に含まれるもの全てに○をつけてください。

1. 一般行政職 2. 小学校の教諭 3. 中学校の教諭 4. 高等学校の教諭
5. 大学教員 6. 学校管理職 7. 民間企業 8. その他（ ）

C. 貴職（教育長）の経歴の中で、貴教委事務局における職務経歴として、あてはまるもの全てに○をつけてください。

1. 指導主事 2. 社会教育主事 3. 管理職 4. 1～3以外の事務職 5. なし

D. 平成23年5月1日現在の貴教委事務局の職員数等をご記入下さい。

a. 教育委員会事務局の本務職員数（内：教育職出身）	名（内 名）
b. 管理主事数（教員人事を担当する教育職）	名
c. 指導主事数（内：充て指導主事）	名（内 名）
d. c以外の非常勤・嘱託の指導主事（指導員）等	名

※ a並びにcについては、地方教育行政調査の数値をご参照ください。

E. 平成23年5月1日現在の所管の学校数（小学校，中学校，高等学校・その他），児童生徒数，教職員数（本務者）をご記入下さい。

	小学校	中学校	高等学校	その他
学校数				
児童生徒数				
教職員数（本務者）				

※ 平成23年度学校基本調査の数値をご参照ください。

F. 貴教委で取り組んでいるその他施策について、あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

1. 2学期制 2. 学校選択制
3. 小中一貫・連携 4. コミュニティ・スクール（学校運営協議会）
5. 学校支援地域本部 6. 学校の第三者評価
7. 教委独自の学力テスト 8. 土曜授業
9. 夏休みの補習 10. NPOや民間団体との提携事業
11. 市区町村費による常勤教員任用
12. その他（具体的に： ）

資料 自治体におけるカリキュラム開発

最後に、教育課程特例校制度並び自治体独自のカリキュラム開発に関して、ご意見等がありましたら、自由にお書きください。

※ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
二つ折りにし、2月15日（水）までに回収用封筒にてご返送ください。

※ できましたら文部科学省へ提出された申請書（別紙様式2：「特別の教育課程編成・実施計画」）の写しをご同封ください。

A 票

特例カリ（●●●）に係る 学校の取組状況に関する調査

この調査は、東京大学大学院教育学研究科学校開発政策コース（研究代表者：大桃敏行）が、科学研究費補助金「社会に生きる学力形成をめざしたカリキュラム・イノベーションの理論的・実践的研究」の一環として行うものです。各自治体で行う新しいカリキュラム、とりわけ教育課程特例校制度に基づくカリキュラム（学校教育法施行規則第55条の2等に基づく、学習指導要領等によらない教育課程を編成、実施する取組み）の成果と課題を実証的に把握し、今後の改革に資することを目的にしています。

○本調査では、「●●●」のことを「特例カリ」と呼んでいます。

- 調査票には、特例カリについて、貴校での検討状況や、実践状況、教育委員会の支援についてのご意見、貴職の学校運営の在り方についてお聞きするための設問が含まれています。
- 各問については、特に回答方法を明記してあるもの以外は、原則として選択回答式を採用しておりますので、あてはまる選択肢の番号を各問について1つずつ○で囲んでご回答ください。
あまり深く考えこまずに思うままにお答えください。
- お答えが難しい質問については、ご回答いただかなくても構いません。**
部分的な回答でも結構ですので、ご返送をお願いいたします。
- ご記入いただく際には、誰か詳しい方に相談されても差し支えありません。**
- 学校名をお聞きしていますが、公表はいたしません。また、本調査結果は回答者が特定されるかたちで公表されることはありません。
- 調査対象は、教育課程特例校を有する自治体です。それぞれの教育委員会と、その所管の学校（校長先生・教員）にご回答をお願いしています。調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

《問い合わせ先》

東京大学大学院教育学研究科
教授 大桃敏行

Tel : 03-0000-xxxx

E-mail : ci-△△△@p.u-tokyo.ac.jp

本調査では、「●●●」のことを「特例カリ」と呼んでいます。

はじめに、特例カリ導入時のことをお尋ねします。

※ご記入いただく際には、誰か詳しい方に相談されても差し支えありません。部分的な回答でも構いません。

Q.1. 特例カリの導入に際して、以下の会議や委員会ではどのくらいの時間をかけて検討が行われましたか。次の各問であてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

	とても長い 時間をかけた	ある程度 時間をかけた	あまり時間を かけなかった	全く時間を かけなかった	当分の 細部なし
A. 企画委員会（運営委員会）	4	3	2	1	0
B. 教務委員会（教務部会）	4	3	2	1	0
C. 既存の教科等部会（具体的に： <input type="text"/> ）	4	3	2	1	0
D. 学年部会	4	3	2	1	0
E. 職員会議（職員連絡会）	4	3	2	1	0

Q.2. 特例カリの導入を円滑に進めるため、特別な委員会（部会）を設けましたか。あてはまるものに○印を付けてください。

- A. 設けなかった。
- B. 設けた。

↳s 1. 「設けた」とされた場合、その委員会のまとめ役となったのは、どなたでしょうか？以下からあてはまるものを1つだけ選んで○印を付けてください。

- 1. 校長 / 2. 副校長・教頭 / 3. 教務主任 / 4. 研究主任
- 5. 教科主任（教科名：） / 6. 生活（生徒）指導主任
- 7. 進路指導主任 / 8. その他（具体的に：）

Q.3. 特例カリの指導方針や指導計画を策定するうえで、貴校では教育委員会からどのような方法で指導・助言を受けましたか。あてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

	とても あてはまる	ある程度 あてはまる	あまりあて はまらない	全くあて はまらない
A. 教育委員会主催の説明会・研修会	4	3	2	1
B. 教育委員会による通知	4	3	2	1
C. 指導主事による学校訪問	4	3	2	1
D. 指導資料の提供	4	3	2	1

Q.4. 特例カリの指導方針や指導計画を策定するうえで、以下の資料や情報をどの程度参照されましたか。次の各問であてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

	詳細に 参照した	時々 参照した	あまり参照 しなかった	全く参照 しなかった
A. 教育委員会作成の指導資料	4	3	2	1
B. 教育委員会作成の教材（副教材等）	4	3	2	1
C. 市区町村の教育研究会作成の指導資料	4	3	2	1
D. 研究開発学校作成の報告書	4	3	2	1
E. その他、特に参照された資料や情報がありましたら、具体的にご記入ください (<input type="text"/>)				

次に、特例カリをめぐる現在の校内体制についてお尋ねします。

Q.5. 貴校での特例カリの実践に関して、次の各問であてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

- | | とても
あてはまる | ある程度
あてはまる | あまりあて
はまらない | 全くあて
はまらない |
|--|--------------|---------------|----------------|---------------|
| A. 特例カリの年間指導計画が
学校として決まっている。 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| B. 特例カリの年間指導計画を
校内で毎年度見直している。 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| C. 特例カリの指導方法は
各教員の裁量に委ねられている。 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| D. 特例カリに関して、
学校として統一の評価規準を定めている。 …… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| E. 特例カリに関して、
校内で評価規準を毎年度見直している。 …… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| F. 特例カリが学校の重点目標に位置づけられている。 …… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| G. 特例カリについて
職員会議で活発な議論が交わされている。 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| H. 特例カリについて企画委員会（運営委員会）で
活発な議論が交わされている。 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| I. 特例カリの指導計画に対して、
毎年、教育委員会からの指導・助言が行われる。 …… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| J. 特例カリの実践について、
毎年、指導主事による学校訪問がある。 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |

Q.6. 特例カリの円滑な実施のため、現在、担当の分掌や委員会を設置していますか。あてはまるものに○印を付けてください。

- A. 設置している。 →Q7へお進みください。
B. 設置していない。 →Q8へお進みください。

Q.7. 特例カリを担当する分掌や委員会では、以下のような活動にどの程度取り組んでいますか。次の各問であてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

- | | 頻繁に
取り組んでいる | 時々
取り組んでいる | あまり
取り組まない | 全く
取り組まない |
|--|----------------|---------------|---------------|--------------|
| A. 年間指導計画の改定 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| B. 評価規準の策定 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| C. 指導資料の作成 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| D. 関連する実践資料の収集 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| E. 校内研修の計画・実施 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| F. 研究授業の計画・実施 …………… | 4 | 3 | 2 | 1 |
| G. その他、特例カリを担当する分掌や委員会の重要な役割がありましたら、ご記入ください。 | | | | |

()

Q.8. **特例カリの実施を円滑に進めるうえで、貴校では次のようなものをどのくらい必要としていますか。次の各問であてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。**

	とても 必要としている	ある程度 必要としている	あまり 必要としない	全く 必要としない
A. 指導主事による学校訪問	4	3	2	1
B. 教育委員会作成の指導資料	4	3	2	1
C. 教育委員会作成の教材	4	3	2	1
D. 他校の実践研究に関する情報	4	3	2	1
E. 特例カリを専門に担当する教員	4	3	2	1
F. 教職員の増員	4	3	2	1
G. 保護者の理解	4	3	2	1
H. 地域の理解	4	3	2	1
I. 教職員の共通理解	4	3	2	1
J. 生徒の理解	4	3	2	1
K. 教職員に対する研修の機会	4	3	2	1
L. 施設・設備	4	3	2	1
M. 裁量のある予算	4	3	2	1
N. その他、特に必要としているものがありましたら、ご記入ください。				

()

Q.9. Q8のA～Nの選択肢のうち、特に必要としているものの記号を3つまでご記入ください。
 [] [] []

次に、特例カリの校内研修についてお尋ねします。

※ご記入いただく際には、誰か詳しい方に相談されても差し支えありません。部分的な回答でも構いません。

Q.10. **特例カリの趣旨や目的を理解するため、導入前の1年間で（特例カリに関する）校内研修を何回実施しましたか。あてはまるものを1つだけ選んで○印をお付けください。**

- A. 0回 B. 1回 C. 2～4回 D. 5～9回 E. 10回以上

Q.11. **特例カリが導入された年度には、（特例カリに関する）校内研修を1年間に何回実施しましたか。あてはまるものを1つだけ選んで○印をお付けください。**

- A. 0回 B. 1回 C. 2～4回 D. 5～9回 E. 10回以上

資料 自治体におけるカリキュラム開発

Q.12. **現在、(特例カリに関する)校内研修を1年間に何回実施していますか。あてはまるものを1つだけ選んで○印をお付けください。**

- A. 0回 B. 1回 C. 2~4回 D. 5~9回 E. 10回以上

Q.13. **現在、特例カリの研究授業は、1年間に何回行われていますか。それは、年間に貴校で行われている研究授業(年次指定研修を除く)のどのくらいの割合を占めますか。**

年に()回 全体の()割

次に、校長先生ご自身の学校経営についてお尋ねします。

Q.14. **特例カリの実践と学校経営の関係を明らかにするために伺います。次の各項目は、校長先生ご自身がとる行動とどの程度一致するでしょうか。あてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。**

- | | とてもあてはまる | ある程度あてはまる | どちらとも言えない | あまりあてはまらない | 全くあてはまらない |
|--|----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| A. 教職員に対しては最新の教育事情を伝えている。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| B. 教職員に対して明確なビジョンと信念を示している。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| C. 困難な問題が発生した時には、先頭に立って行動する。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| D. 学校の独自性を出す運営を行っている。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| E. 教職員に対しては、
先進的な試みに取り組むことを奨励している。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| F. 子どもたちの顔と名前はほとんど覚えている。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| G. 自分からすすんで子どもに関わっている。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| H. 校内では、学校運営に関わる内容よりも、
教育に関わる内容の発言をする。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| I. 教職員の個別の研修機会を保障している。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| J. 教職員相互の要求に矛盾が生じた場合には、
積極的にその調整にあたる。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| K. 教職員の個人的な悩みの相談にも積極的に応じている。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| L. 個々の教職員の教育活動には
寛容な態度でのぞむようにしている。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| M. 教職員から出される意見には積極的に耳を傾けている。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| N. 教職員には頻繁に声をかけるよう努めている。…………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

B 票

特例カリ（●●●）に係る 教員の意識と行動に関する調査

この調査は、東京大学大学院教育学研究科学校開発政策コース（研究代表者：大桃敏行）が、科学研究費補助金「社会に生きる学力形成をめざしたカリキュラム・イノベーションの理論的・実践的研究」の一環として行うものです。各自治体で行う新しいカリキュラム、とりわけ教育課程特例校制度に基づくカリキュラム（学校教育法施行規則第55条の2等に基づく、学習指導要領等によらない教育課程を編成、実施する取組み）の成果と課題を実証的に把握し、今後の改革に資することを目的にしています。

○本調査では、「●●●」のことを「特例カリ」と呼んでいます。

- 調査票には、特例カリについて、先生ご自身の実践のご様子、先生のご意見、教育委員会の支援についてのご意見、学校の基本的特徴についてお聞きするための設問が含まれています。
- 各問については、特に回答方法を明記してあるもの以外は、原則として選択回答式を採用しておりますので、**あてはまる選択肢の番号を各問について1つずつ○で囲んでご回答ください。本調査結果は回答者が特定されるかたちで公表されることはありません。**あまり深く考えこまずに思うままにお答えください。
- 調査対象は、教育課程特例校を有する自治体です。それぞれの教育委員会と、その所管の学校（校長・教員）にご回答をお願いしています。調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。
- 回答済みの調査票は、封筒に入れて、封をして、**校長先生にお渡しください。**なお、本調査は2月15日までにご返送いただくよう、お願いを差し上げております。

《問い合わせ先》

東京大学大学院教育学研究科
教授 大桃敏行

Tel : 03-0000-xxxx

E-mail : ci-△△△@p.u-tokyo.ac.jp

本調査では、「●●●」のことを「特例カリ」と呼んでいます。

Q.1. 特例カリに関しての理解を深めるうえで以下の研修や資料は役に立ったと思われますか。次の各問にあてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

(研修について)	とても役に立った	ある程度役に立った	あまり役に立たなかった	全く役に立たなかった	参加したことがない
A. 教育委員会主催の研修会	4	3	2	1	0
B. 特例カリに関する市区町村の教育研究会	4	3	2	1	0
C. 自校の校内研修	4	3	2	1	0
D. 他校の研究発表会	4	3	2	1	0
E. その他、特例カリに関して理解を深めるのに役立った研修がありましたら、具体的にご記入ください。 ()					

(資料について)	とても役に立った	ある程度役に立った	あまり役に立たなかった	全く役に立たなかった	見たことがない
F. 教育委員会作成の指導資料	4	3	2	1	0
G. 教育委員会作成の教材（副読本等）	4	3	2	1	0
H. 市区町村の教育研究会作成の指導資料	4	3	2	1	0
I. 研究指定校作成の報告書	4	3	2	1	0
J. 校内で作成されていた指導資料	4	3	2	1	0
K. その他、特例カリに関して理解を深めるのに役立った資料・情報がありましたら、具体的にご記入ください。 ()					

Q.2. 特例カリの実践で生じた不明点・疑問点に関して、先生はどなたとご相談になることが多いですか。次のA~Kのうち、ご相談になる機会の多い方に3つまで○印を付けてください。

- A. 校長 B. 副校長・教頭 C. 教務主任 D. 特例カリを主に担当する先生
 E. 同学年の担任 F. 特例カリを以前に受け持っていた先生 G. A~F以外の自校の先生
 H. 指導主事 I. 研究指定校の先生 J. 他校の先生
 K. その他（具体的に：)

Q.3. 先生がご担当の特例カリについて、次の各問でははまる選択肢の番号に○印を付けてください。

	とても あてはまる	ある程度 あてはまる	あまりあて はまらない	全くあて はまらない
A. 他の先生と特例カリの授業を見せ合っている。 ……………	4	3	2	1
B. 特例カリの授業内容について 他の先生と話し合っている。 ……………	4	3	2	1
C. 他教科との間に 内容・方法上の関連づけを図っている。 ……………	4	3	2	1
D. 実際の生活にも 役立つような授業内容としている。 ……………	4	3	2	1
E. 他校の実践を参照することがある。 ……………	4	3	2	1
F. 新しい単元や教材を開発したことがある。 ……………	4	3	2	1
G. 子どもの実態に合わせて、 評価の方法や観点を見直したことがある。 ……………	4	3	2	1
H. 子どもの実態に合わせて、 年度途中で単元や教材を変えたことがある。 ……………	4	3	2	1
I. 教育委員会の示す特例カリの 趣旨や目的に沿うことを重視している。 ……………	4	3	2	1
J. 前年度の指導内容や指導方針を踏襲している。 ……………	4	3	2	1

Q.4. 特例カリの導入による子ども、教員、学校への影響について、次の各問でははまる選択肢の番号に○印を付けてください。

	とても あてはまる	ある程度 あてはまる	あまりあて はまらない	全くあて はまらない
(子どもへの影響)				
A. 特例カリの授業で、 子どもの個性が伸びたと感じる場面があった。 ……………	4	3	2	1
B. 特例カリの授業で、子どもの 規範意識が高まったと感じる場面があった。 ……………	4	3	2	1
C. 特例カリの授業で、子どもの 思考力が高まったと感じる場面があった。 ……………	4	3	2	1
D. 特例カリの授業で、子どもの 判断力が高まったと感じる場面があった。 ……………	4	3	2	1
E. 特例カリの授業で、 子どもの表現力が高まったと感じる場面があった。 ……………	4	3	2	1
F. 特例カリの授業で、 子どもの集中力が高まったと感じる場面があった。 ……………	4	3	2	1
G. 子どもが地域や社会のことを考えるようになった。 ……………	4	3	2	1
H. 子どもが他教科の授業にも 積極的に取り組むようになった。 ……………	4	3	2	1
I. 子どもが友達と協力しあえるようになった。 ……………	4	3	2	1
J. 既存の教科にはない学習成果がみられた。 ……………	4	3	2	1
K. 既存の教科の学力が低下した。 ……………	4	3	2	1
L. 以前は活躍できなかった子に活躍の場ができた。 ……………	4	3	2	1
M. 子どもの負担が増した。 ……………	4	3	2	1

→ Q.4.は次ページに続きます

(教員への影響)

	とても あてはまる	ある程度 あてはまる	あまりあて はまらない	全くあて はまらない
A. 授業の力量があがった。……………	4	3	2	1
B. 教員の創意工夫をいかす機会が増えた。……………	4	3	2	1
C. 日々の仕事が忙しくなった。……………	4	3	2	1
D. 子どもを多様な視点で見るようになった。……………	4	3	2	1
E. 教員の役割に対する考え方が変わった。……………	4	3	2	1
F. 自校の先生と協力する機会が増えた。……………	4	3	2	1
G. 他校の先生と相談する機会が増えた。……………	4	3	2	1

(学校への影響)

	とても あてはまる	ある程度 あてはまる	あまりあて はまらない	全くあて はまらない
A. 学校が活性化した。……………	4	3	2	1
B. 自校の特色が明確になった。……………	4	3	2	1
C. 校長がリーダーシップを発揮する機会が増えた。……………	4	3	2	1
D. 保護者や地域住民が授業に参加する機会が増えた。……………	4	3	2	1
E. 学校独自の実践が生まれた。……………	4	3	2	1
F. 学校から教育委員会への提案が増えた。……………	4	3	2	1
G. 学校間の連携が強まった。……………	4	3	2	1

Q.5. はじめて特例カリを担当された時、特例カリに対してどのような印象・評価をお持ちでしたか。また、現在ではいかがでしょうか。次の各問であてはまる選択肢の番号を、下表にご記入ください。

《選択肢》

4. とてもよくあてはまる 3. ある程度あてはまる。
2. あまりあてはまらない。 1. 全くあてはまらない。

《回答欄》

	はじめて 担当した時	現在
(例) ×××××は好きである。	4,3,2,①	④,3,2,1
特例カリは自身の専門性を高めることに繋がる。	4,3,2,1	4,3,2,1
特例カリの単元開発や教材開発に積極的に関わりたい。	4,3,2,1	4,3,2,1
特例カリの授業に不安を感じている。	4,3,2,1	4,3,2,1
特例カリについて同僚から質問を受けた時に 自分の言葉で回答できる。	4,3,2,1	4,3,2,1
特例カリの内容は この地域の子どもの実態を踏まえている。	4,3,2,1	4,3,2,1
特例カリの内容は 保護者や地域住民のニーズに responding している。	4,3,2,1	4,3,2,1
特例カリの内容は教職員の意見や考えを反映している。	4,3,2,1	4,3,2,1
特例カリよりも既存の教科の方が重要である。	4,3,2,1	4,3,2,1
特例カリの導入はメリットよりデメリットが大きい。	4,3,2,1	4,3,2,1

資料 自治体におけるカリキュラム開発

Q.6. 特例カリの実践に対する教育委員会の支援として次のことはどの程度必要ですか。あてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

とても
あてはまる ある程度
あてはまる あまりあて
はまらない 全くあて
はまらない

- A. 特例カリを専門に教える
教員を配置する必要がある。…………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- B. 教育委員会が特例カリの
指導案を例示する必要がある。…………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- C. 特例カリのカリキュラムについて、
各学校の裁量を拡大する必要がある。…………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- D. 特例カリの充実のためには、
研究指定校を増やす必要がある。…………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- E. 特例カリの充実のためには、
研修を増やす必要がある。…………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- F. 特例カリの充実のためには、
指導主事による学校訪問を増やす必要がある。…………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1

Q.7. 特例カリの実践と教員の組織文化の関係を明らかにするために伺います。先生は、現在の勤務校について、どのような印象をお持ちでしょうか。次の各問であてはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

とても ある程度 どちらとも あまりあて 全くあて
あてはまる あてはまる 言えない はまらない はまらない

- A. 教員が自発的に自らの力量を高めようとしている。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- B. 教員が教育の専門家としての強い使命感を持っている。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- C. 授業実践に対して
教員がお互いに建設的な意見を出し合っている。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- D. 新しい実践を創り出すための挑戦や変化を教員が好む。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- E. 教育目標の達成に向けて教員が努力している。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- F. 教員間に授業力を高めようとする
競争的な雰囲気がある。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- G. 教材研究のための時間が確保されている。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- H. 会議が効率的に行われている。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- I. 教員が授業実践の工夫を自由に試みることができる。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- J. 指導方法の決定や単元開発は、
もっぱら教員の裁量に委ねられている。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- K. 教員の教育活動に対する管理職からの関与が少ない。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- L. 悩み事を同僚同士が相談し合っている。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1
- M. 教材研究や単元開発において、
同僚同士が支援し合っている。…………… 5 …………… 4 …………… 3 …………… 2 …………… 1

最後に、先生ご自身のことについてお聞かせください。

- A. 教職に就かれて何年になりますか。 () 年
- B. 現在の勤務校にこられて何年になりますか。 () 年
- C. 特例カリの授業を担当された経験を、何年間お持ちですか。 () 年間
- D. 過去一年間に、特例カリに関する研修会に何回参加したことがありますか。 () 回
- E. 何年生の担任をしていますか。 () 年 / 担任をしていない
- F. 主な分掌に○印を付けてください。(複数回答可)
 教務主任 / 学年主任 / 研究主任 / 教科主任(教科名:)
 生活(生徒)指導主任 / 進路指導主任 / その他(具体的に:) / 特になし
- G. ご専門の教科・領域、ご所属の教育研究会に○印を付けてください。(複数回答可)
 国語 / 算数(数学) / 英語 / 社会 / 理科 / 特例カリ
 総合的な学習 / 生活 / 音楽 / 図画工作 / 家庭
 体育 / 道徳 / 特別活動 / その他()
- H. 特例カリの教材研究・授業準備として、
 一コマあたり平均何分くらいかけていますか。 約 () 分
- I. 差し支えなければ、先生の性別をご記入ください。 【 】

特例カリに関して、ご意見等がありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

回答を終えられましたら、封筒に入れて、封をして、校長先生にお渡してください。
 なお、本調査は2月15日までにご返送いただくよう、お願いを差し上げております。